

「平成30年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第3回）」  
議事概要

I 日 時

平成31年1月28日（月）09:55～12:05

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構6階 会議室1～3

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

和田 義博（公認会計士）

伊藤 憲二（森・濱田松本法律事務所 弁護士）

◎疋田 英一郎（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○大塚 美智子（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

(1) 審議事項案件

平成31年1月から3月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件  
（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）にかかる事前点検について

(2) その他

V 議事内容

(1) ① 平成31年1月から3月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件  
（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）にかかる事前点検について

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
<p>① 蓋然性の高い調達（ex. ホームページの保守）については、法人内の他の手続き（ex. 予算確定）とどういった線引きの下、調達を進めていくのかといった整合性を図りつつ、合理的な調達が可能となるような検討を進めること。</p> <p>② システムの調達においては、初期に保守にかかるコスト（単価ベース）の妥当性も検討し、更改時の保守費用について比較・検証することが必要。</p> <p>③ 企画競争による調達を行う際には、企画競争を選択した理由、妥当性を明確にするとともに、知見やノウハウを蓄積することで、一般競争入札（総合評価落札方式）へ変更することも視野に入れること。</p> <p>④ 特定の1者との契約が長期化する場合（ベンダー・ロックイン状況）、他者との比較をすることで、価格の妥当性の検証を客観的に行うこと。</p>	<p>ご意見のとおり、努めてまいります。</p>

(2) その他

平成31年2月～平成31年3月調達予定案件一覧表（最低価格落札方式）についての報告が行われた。

以上